

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
総合実習 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	角田 光代／小川 知子			実務経験	有	職種	インテリアデザイナー/インテリアコーディネーター				
担当教員紹介											
建築設計、展覧会展示計画、舞台装置、書籍の編集などに携わる。											
授業概要											
1～10回：スケッチとパース図の作図（描き方・着彩）色彩計画（カラースキム）など、複数の課題を通して表現技法を身につけ、段階的に到達レベルを上げる。 11～20回：構造、構法、環境工学、設備など、インテリアに関する技術的知識を身につける。建築・インテリアの時代的变化や技術的進歩に合わせて身につける。											
到達目標											
1～10回：形態、素材、色彩、構造について学び、平面構成力を身につける。インテリアデザイン・コーディネートをする上での、素材、色彩の知識をつけ、使う人、用途、場所に合わせて計画ができるようになる 11～20回：インテリア空間をつくるための構造・構法と仕上げ、室内環境とそれを支える設備について知識をつけ、インテリアコーディネーターの資格取得もめざす											
授業方法											
1～10回：インテリアの空間ごと、シーンに応じてスケッチやパース図を描くトレーニングを重ねる。色鉛筆、マーカーによっての着彩の仕方を身につけ、素材感や光までも表現できるようにする。 11～20回：インテリアコーディネーターに必要な知識と技術を学ぶ科目である。建物の構造、構法、建築材料、仕上げ、プレゼンテーションについて、技術的知識を学ぶ											
成績評価方法											
課題成果物	60%	提出課題完成度を総合的に評価する									
習熟度	20%	段階的に必要な技量の習得、適切ば道具の選定									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度による評価									
履修上の注意											
授業時間内で、作図の仕方や着彩方法を学び、毎授業ごとに課題を仕上げる。道具の扱い・管理には注意を払うこと。 欠席等により課題が出せなかった場合は、翌週までに仕上げ、提出すること。 全ての課題を提出しなければ、合格とならない。また授業時数の4分3以上出席しない者は合格することができない。											
教科書教材											
教材：製図道具、着色用色鉛筆、マーカー 教科書：やさしく学ぶインテリア製図、インテリアコーディネータハンドブック											
回数	授業計画										
第1回	着彩トレーニング ① 色鉛筆の使い方を身につける、スケッチパースで形を捉える インテリア家具の着彩										
第2回	着彩トレーニング ② マーカーの使い方を身につける、スケッチパースで形を捉える インテリア小物の着彩										
第3回	着彩トレーニング ③ 素材の風合いを出す着彩ができるようになる										
第4回	着彩トレーニング ④ 室内・シーンの表現ができるようになる										
第5回	表現技法（パース）トレーニング① 室内パースの書き方を理解する（1焦点）										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
総合実習 1	
第6回	表現技法（パース）トレーニング② 室内パースを描く 表現技法（パース）トレーニング③ 室内パースに着色する
第7回	表現技法（パース）トレーニング（1焦点）まとめ、プレゼンテーション
第8回	表現技法（パース）トレーニング① 室内パースの書き方を理解する（2焦点）
第9回	表現技法（パース）トレーニング② 室内パースを描く 表現技法（パース）トレーニング③ 室内パースに着色する
第10回	表現技法（パース）トレーニング（1焦点） 1～10回のまとめ、プレゼンテーション
第11回	インテリアコーディネーションの表現 建築設計図書の種類と図面記号を理解する 立体表現とCADの基礎について理解する
第12回	建築の構造・構法① 木造建築物の部材や金具の名称と役割を理解する その他の構造について理解する
第13回	建築の構造・構法② 木材・鉄の性質、鉄骨造について理解する
第14回	建築の構造・構法③ コンクリートの性質、鉄筋コンクリート造、その他の構造について理解する
第15回	インテリア構法 床・壁・天井の構法について、木・RC・S造のそれぞれについて理解する
第16回	造作と造作材 和室、開口部、階段などの造作と造作材の名称と役割を理解する
第17回	機能材料 断熱材、吸音材、防火材、シール材の特徴と注意点について理解する
第18回	材料①（ガラス・木質系）（樹脂・畳・タイル） それぞれの種類と特徴について理解する
第19回	材料②（石・レンガ・左官）（クロス・塗料） それぞれの種類と特徴、注意点について理解する
第20回	リフォーム リフォームの構法、注意点について理解する 11～20回の授業内容の理解度を確認する